



参加適正チェック

以下いずれかに該当するお客さまは参加いただける可能性があります

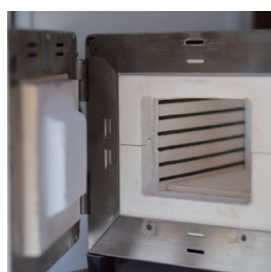
特に夏季(7-9月)および冬季(12月-2月)の平日(年末年始、早朝夜間を除く)において、

- 3時間停止させる事ができる電気設備を所有している
- ピークカットもしくはローテーション、停止中の自家発電設備を所有しており、3時間稼働できる

ご使用いただける設備例



自家発電設備



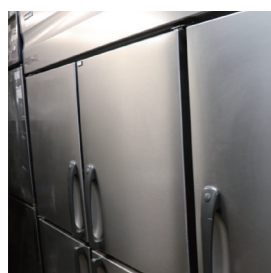
電気炉



蓄電池



電気空調



冷凍冷蔵関連機器



プレス機



ポンプ



コンプレッサー

バーチャルパワープラントについて、もっと詳しく知りたい方はこちらの動画(経済産業省 動画チャンネル)をご参照ください!



sala



電カデマンドレスポンスサービス

VPP バーチャルパワープラント for Biz



生産性を維持したまま収益を得ませんか?



■ お気軽にお問合せください。

sala サラエナジー株式会社

- 豊橋事業所 愛知県豊橋市神野新田町字テノ割1 tel. 0532-32-5540
- 浜松事業所 静岡県浜松市東区西塚町200 tel. 053-462-9324
- 西三河事業所 愛知県西尾市米津町入船2-58 tel. 0563-65-3573
- 静岡事業所 静岡県静岡市清水区鳥坂531 tel. 054-347-4613

DR(デマンドレスポンス)が注目される背景

- 事業を行うに欠かせない電気は「貯蔵できない」という性質を持つため、常に需要と供給をバランスさせなければならない。
- これまで需要に合わせて供給を行う形態がとられていたが、近年は自然状況により発電量が左右される太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入が進み、供給量を制御することができない。
- 電力の安定供給のための「調整役」を主に担ってきた火力発電所は多額の設備投資やカーボンニュートラルの流れから新設が難しい。老朽化した発電所は維持・管理費が必要、設備トラブルのリスクあり。



エネルギーの需要側が供給状況に応じて賢く消費パターンを変化させるデマンドレスポンス(DR)が注目

サーラは、各お客さまの設備(エネルギーリソース)を束ねる(アグリゲートする)ことでバーチャルパワープラント(VPP:仮想発電所)を構築します。お客さまは、VPPにご参加いただくと、新たな設備投資を行うことなく、お客さま所有の設備を利用してデマンドレスポンスに対する報酬を受け取ることができます!また、社会貢献にもつながります!

お客さまにとってのメリット

- 施設の有効活用
- マネタイズ

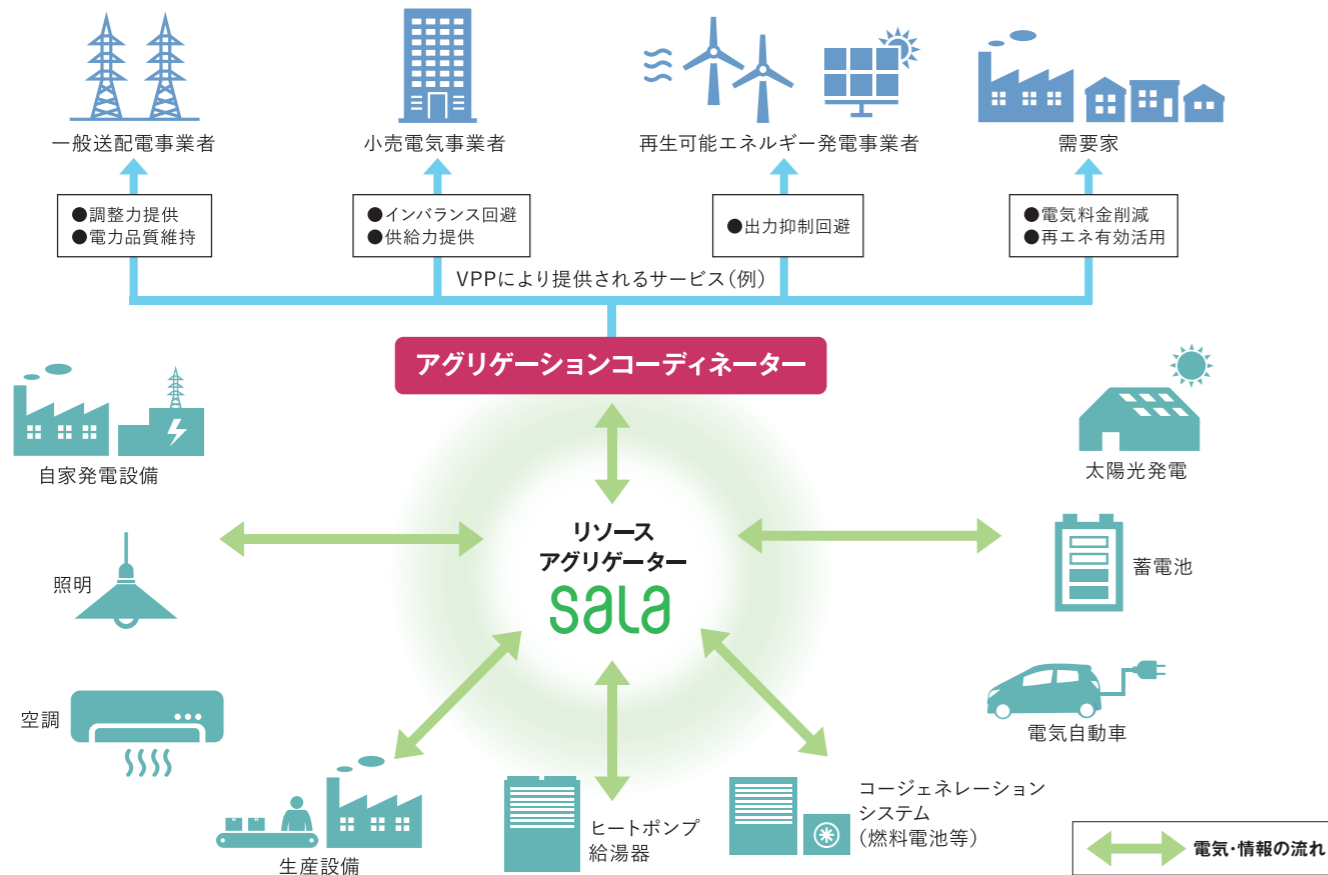
社会全体にとってのメリット

- 経済的な電力システムの構築
- 再生可能エネルギーの導入拡大
- 電力の系統安定化コストの低減

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs(持続可能な開発目標)に貢献



〈VPPサービスにおける役割〉



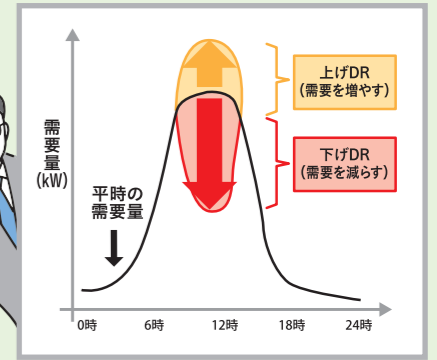
〈アグリゲーター等とは〉
需要家側エネルギーリソースや分散型エネルギーリソースを統合制御し、VPPやDRからエネルギーサービスを提供する事業者のことを、リソースアグリゲーター、アグリゲーションコーディネーター(以下、「アグリゲーター等」といいます。両者の役割は次のとおりです。また、両役割を兼ねる事業者も存在します。

【リソースアグリゲーター】需要家とVPPサービス契約を直接締結してリソース制御を行う事業者
【アグリゲーションコーディネーター】リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と直接電力取引を行う事業者

〈経済産業省 資源エネルギー庁などから出典〉

デマンドレスポンスとは

上げDR/下げDRがあります。サーラでは主に電力の需給ひっ迫時の下げDRを提案しています。具体的な手法は次の2つです。



①自社発電設備を稼働させる

- 発電機の稼働 ●蓄電池に貯めた電気を放電

②負荷設備の稼働抑制させる

- 容量の大きな設備の一時停止 電気炉やポンプ など

〈デマンドレスポンスを活用できる電力市場・商品〉

一般送配電事業者が周波数調整・需給調整を行うための「調整力(ΔkW、デルタキロワット)」を調達する需給調整市場、「将来の供給力(kW、キロワット)」を取引する容量市場、安定供給に必要な予備率として「供給力」が不足する場合に実施される追加供給力公募などがあります。それぞれの商品の特性を捉えてマネタイズを提案します。

■需給調整市場

電力の安定供給や品質確保に必要な「調整力」を、一般送配電事業者がより効率的に調達・取引するための市場で、応動時間や継続時間などに応じ5区分がある。

商品区分	対応要件		リソース	導入スケジュール
	応動時間	持続時間		
一次調整力	10秒以内	5分以上	系統連系や需要地併設蓄電池	2024年度～
二次調整力①	5分以内	30分以上	系統連系や需要地併設蓄電池	2024年度～
二次調整力②	5分以内	30分以上	系統連系や需要地併設蓄電池	2024年度～
三次調整力①	15分以内	3時間	蓄電池や応動の早いガスエンジン	2022年度より開始
三次調整力②	45分以内	3時間	多くのリソースで参加可能	2021年度より開始

サーラが主に提案する商品

■容量市場

4年後に必要な「供給力」と「予備力」を日本全体で確保するための市場で、競争が進んでも発電事業者が電源の維持・新設・更新に着実に投資できるようにするために2020年度(実需給2024年度)から創設された。

容量市場対象実需給年度(例)	年度(例)	N-1年度(2022年度)	N年度(2023年度)	N+1年度(2024年度)	N+2年度(2025年度)	N+3年度(2026年度)	N+4年度(2027年度)	N+5年度(2028年度)
N+1年度(2024年度)	実効性テスト	追加オークション	実需給	早期の合意形成が必要				
N+2年度(2025年度)		実効性テスト	追加オークション	実需給				
N+3年度(2026年度)	メインオークション		実効性テスト	追加オークション	実需給			
N+4年度(2027年度)			メインオークション	実効性テスト	追加オークション	実需給		
N+5年度(2028年度)				メインオークション	実効性テスト	追加オークション	実需給	

※追加オークションは必要に応じて開催される

追加供給力公募(夏季・冬季)

※不定期開催

電気事業者から提出される供給計画をもとに、国の審議会における議論を経て、需給対策として追加的な供給力確保が必要とされた場合に実施される(北海道・沖縄を除くエリアにおいて「2022年度夏季追加供給力公募」「2022年度冬季追加供給力公募」が行われた)

サーラの なら効率的に電力が使える 需給バランスの調整により、社会に貢献しながら報酬を得る事ができます!

報酬体系と仕組み

お客さまへのお支払い報酬 = 基本報酬 + 従量報酬 - ペナルティ額

基本報酬 = 契約単価(円/kW) × 供出電力(kW)

従量報酬 = 従量報酬単価(円/kWh) × 需要抑制量(kWh)

ペナルティ額 = 1コマ(30分)あたりの基本報酬 × 未達割合(%) × ペナルティ料率



基本報酬について

- ご契約時にベースとなる基本報酬額を確定致します。
- 発動要請時の対応結果に応じて、基本報酬額からペナルティ額を控除し最終的なお客さまの報酬額を確定致します。
- 発動の有無に関わらず、ご契約容量(供出電力、需要抑制可能な容量)(kW)に従って支払われます。

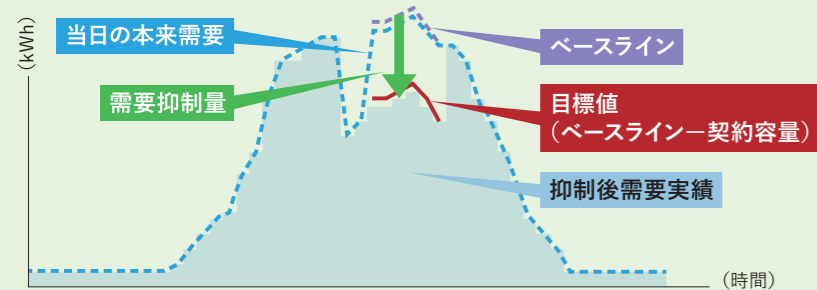
従量報酬について

- 買電量削減メリット控除後の需要抑制にご対応頂いた分のコスト相当額をお支払い致します。
- 買電量削減メリットと従量報酬で節電対応(自家発電稼働等)のコストを回収(実質相殺)できます。



発動時に、どれだけ節電(需要抑制)できたかを、ベースラインと目標値を設定します。需要抑制量を達成できなかった場合、未達割合に応じて基本報酬が減額されます。

ベースライン	過去の5日のうち、受電電力量が高い4日間の平均【High 4 of 5】 上記に対象時間の2時間~5時間前の当日の需要増減分を反映した基準値
目標値	ベースラインから契約容量を差し引いた値



たとえば、
容量市場の発動指令
電源・供出電力100kWで
年間約
20~40万円の
収益が見込めます!

【DRサービスの一般的な公募要件】

容量市場メインオークション・発動指令電源の場合	
対象エリア	全国(ただし、沖縄地域およびその他地域の離島を除く)
対応期間	4月~翌3月の電力需給ひっ迫時(一般送配電事業者からの発動指令に応じて、供給力を提供する)
応動時間	3時間
持続時間	連続3時間
発動の上限回数	12回/年(発動指令の対応は1日1回限度)
申込容量	25kW以上
対応依頼方法	事前に取り決めた3時間前に当社から電話・メールで対応要請(→お客さまの方では、計測器の表示に従って需要を抑制いただく)

DRサービスの特長

お客さまの要望に応じた最適な契約容量、プライシングでのご提案

※アグリゲーションコーディネーターからのご提案となります。

1.ペナルティを最小限に抑える、最適な容量のご提案

▶お客さまの受電電力状況と自家発電設備の稼働状況を加味し、過去の対応実績からお客さまのメリットを可能な限り最大化するコンサルティングを実施致します。



2.お客さまのご意向に合わせた、応札プライシングと報酬の透明性確保

▶応札価格とお客さまの報酬割合を開示させていただきます。アグリゲーションコーディネーター推奨の応札価格だけでなくお客さまのご意向を反映させた応札価格をディスカッションにて設定致します。



3.低リスクの事業スキーム

▶原則、事業開始時に初期導入費用は発生致しません。
お客さまのご要望による特殊対応(自家発電設備の遠隔制御対応等)が必要となる場合のみ費用が発生する場合がございます。



DRサービス導入までの流れ

2026年度 容量市場・発動指令電源の場合

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
お客さま	報酬額試算のための情報開示・対応条件ご相談 サーラからの報酬額等のご提案 随時	参加同意書提出 2月末	実効性テスト 夏季 7~9月 実効性テスト 冬季 12~2月	サーラとの契約締結 実効性テスト後~2026年3月末	運用開始 4~3月
補足および 容量市場に関する 出来事・手続き	・メインオークション開催 要綱公表(7月)、入札(11月) 約定結果公表(1月)、広域 機関と落札した事業者との 契約締結(~3月)	・落札した事業者による契約 締結後の手続き(電源等リ スト提出(2月末)ほか)	・実需給年度の2年前の夏季 (7~9月)または冬季(12~ 2月)に実効性テストを実施。 日程を調整いたします。	・追加オークション開催※ ※開催される場合は実需給の前年度 までに公表される。	

【DRサービス発動の流れ】



DRサービスご参加にかかるお願い

※アグリゲーションコーディネーターからご相談させていただきます。
※提案する電力市場・商品によって異なる場合があります。

①報酬額試算にご協力下さい。

- ▶基本報酬の算出：供出電力試算のため、契約容量・需要電力量(受電電力量)及び発電実績(7-9月、12-2月分)をご提供下さい。
- ▶従量報酬の算出：お客さまのご対応コスト(機器稼働費等)を「¥/kWh」としてお教え下さい。

②対応条件をご相談させていただきます。

- ▶バックアップ設備のご検討/計測器の設定/遠隔制御の可能性等をご相談させていただきます。

③報酬額と供出電力をご相談させていただきます。

- ▶報酬額と供出電力をご相談させていただきます。
- ▶必要な情報(供給地点特定番号/小売電気事業者名と契約内容/設備運用体制等)をご開示いただき、DRサービスへの参加同意書をご提出いただきます。



④実行性テスト~契約締結~運用開始まで

- ▶計測器の設置、及び実行性テスト等の稼働試験の実施にご対応いただきます。
- ▶契約締結後は、供出電力等の条件変更は出来ません。